

こ こえ きも  
「子どもの声・気持ちをきかせてください！」 2020年春・緊急子どもアンケート

いつ 3月17日～31日  
(2週間)

だれ しょうがくせい さい  
小学生～18才の人  
1,422人が回答

どこから  
とどうふけん  
41都道府県



ぜんたいばん ほうこくしょ  
全体版の報告書は、ホームページで見られます！

リンク <https://bit.ly/2OuWFbP> または QRコードから→



【しつもん1】 休校中の昼間の過ごし方

ひとりで過ごしている時間がある 14.5% (約 7人に1人)  
ひま・つまらないと感じている 9.9% (約 10人に1人)



「一人ですごしていた」人は、  
高校生では3人に1人。  
「つまらない」と答えた人は、  
学童へ行っていない小学生や  
中学生に多かったです

【しつもん2】 困っていること、心配なこと

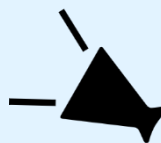
日常が送れない・人と会いたい 31.4% (約 3人に1人)  
体調や感染の心配 16.0% (約 6人に1人)  
勉強ができない、学校のことなど 15.7% (約 6人に1人)



勉強の心配は、  
学年が上の人ほど  
大きかったみたいです

【しつもん3】 これから大人・社会・政治にしてほしいこと

感染症への対策 15.6% (約 6人に1人)  
学校生活のあり方 13.0% (約 7人に1人)  
子どもの意見の尊重や情報提供 9.3% (約 10人に1人)



「学校生活のあり方」の意見は、  
中学生がいちばん多く、  
「子どもの意見の尊重や  
情報提供」は高校生が  
最も多い割合で求めています

みんなの意見をまとめて、「記者会見」もおこないました。  
NHKの朝のニュース「おはよう日本」など、いくつかのテレビ  
でも紹介されたので、見た人もいますかもしれません。



この報告書は、2020年3月にセーブ・ザ・チルドレンの  
アンケートに答えてくれた人に送っています。

アンケートで気になったことや、セーブの人につたえたいことが  
あれば、下の【お問い合わせ】まで連絡してください。

【お問い合わせ】

住所：〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-8-4  
山田ビル4階 セーブ・ザ・チルドレン 国内事業部  
メール：japan.soap@savethechildren.org  
電話：03-6859-6869 (平日9:00-17:00)

# みんなの意見

ぜんいん いけん しょうがい  
全員の意見を紹介できなくて、

ごめんなさい！

きゅう き きゅう はじ  
急に決めて急に始めないでほしい。みんな戸惑ってるし、先生がすごいしんどそう。みんなどれだけ大変な思いをしたのか知ってますか？そこまで決めてから行ってほしかった。(小5・大阪府)

い いま じぶん はら  
バイトに行けなくて今まで自分で払ってた学費や教科書代、定期代が払えません。(高2・宮城県)

そつぎょう ともだち あ  
卒業にもかかわらず、友達と会えないことがさみしい。(小6・高知県)

たいへん ひと  
コロナで大変な人がいっぱいいるから、ちゃんと支援して欲しい。子どもの行き場をもっとちゃんと増やして欲しい。(中1・佐賀県)

としょかん し  
図書館が閉まっていて、本が借りられなくて困る。(小3・栃木県)

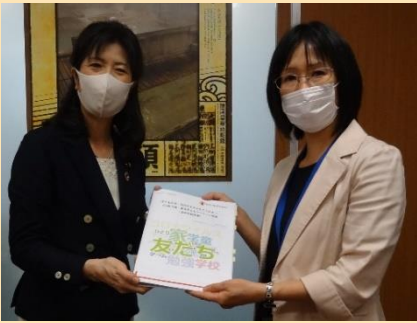
ちほう じゅぎょう  
地方でもいいので、テレビ授業があるといい！前の学年の出来なかった授業をもう1度してほしい！プリント集や問題集だけじゃわかりません！あと、前学年(1年間)の総復習の時間を設けてほしい！(中1・熊本県)

ちょうかく しょうがい ふだん どくわ  
聴覚に障害があり、普段は読話による会話をしているので、マスクをしている人と会話することができません。(…)  
ひび そがいかん かん ひと きがる  
日々疎外感を感じています。人と気軽にコミュニケーションが取れないのがこんなに辛いことだと思いませんでした。(高2・埼玉県)

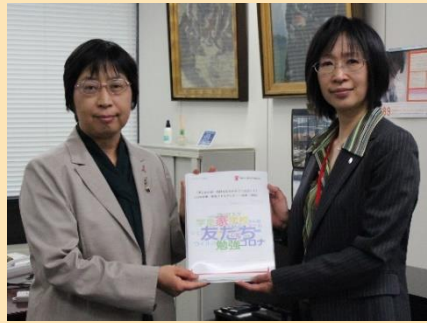
うしな きょういくきかい み あ  
失われた教育機会に見合っただけの成果(感染拡大をある程度防ぐこと)が得られたのか、せんもんか ちょうさ せんもんか ちょうさ  
専門家がしっかり調査して、きょういくきかい うしな こ  
教育機会が失われた子ども(わたし)にきちんと説明して欲しい。(高2・鹿児島県)

## とどけたよ！

みんなの意見をひとつの本(全体版)にまとめて、国・政府の人たちにもつたえしました。



もんぶかがくしょう ぶくだいじん  
文部科学省・副大臣



こうせいろうどうしょう こ かていきょうちゆう  
厚生労働省・子ども家庭局長



こ ひんこんたいさくすいしんぎれん かいちゆう  
子どもの貧困対策推進議連・会長

## こうなったよ

こっかい ぎろん  
国会の議論のなかで、「緊急子どもアンケート」が何回か取り上げられました。



こ む じょうきょうせつめい かてい まな かんきょう  
子どもに向けた状況説明や、家庭でもちゃんと学べる環境づくりについて、  
もんぶかがくしょう だいじん こ む きしゃかいけん けんしゆう かくしゅう  
文部科学省の大臣は、「(子ども向け記者会見を)検証してみたい」、「(オンライン学習の環境づくりは)当然こえていかなきゃならない課題。他の省庁と相談しながら努力をする」と答えています。ちゃんと実現されるように、セーブ・ザ・チルドレンから今後も求めていきます。



いけん ほうこくしょ さんこう もんぶかがくしょう こ しぜんたいけんがくしゅう ぜんこく すす  
みんなの意見が詰まった報告書を参考に、文部科学省が「子どもの自然体験学習」を全国で進めることになりました。「子どもの居場所がない」、「日常生活が送れない」と感じていた人も、ちか ばしよ さんか  
近くの場所で参加できるようになるかもしれません。

